

# 「CO<sub>2</sub> 排出係数の見直し」と「基準排出量の再計算」

## 【第2計画期間】

- 需要側からのCO<sub>2</sub>削減を、より効果的、かつ、実態に合うものとするため、各計画期間開始前に、直近のデータをもとに、エネルギー種別ごとに設定  
(当該排出係数は、計画期間中、固定し、年度排出量や基準排出量算定は、当該排出係数を用いて算定)
- 第2計画期間 CO<sub>2</sub> 排出係数の見直し・・・第2計画期間で使用エネルギー種別ごとの排出係数を都が公表(2014年度)  
(例) 電気の排出係数：2011及び2012年度の平均値(都内に電気を供給する東京電力及び新電力の平均値)で設定  
(例) 地域熱供給事業者等から受入の熱の排出係数：電気と同様、2011及び2012年度の平均値(都内の地域熱供給事業者の平均値)で設定
- 【基準排出量の再計算】これまでの省エネ努力によるCO<sub>2</sub>削減効果を適切に反映させるため、基準排出量も、見直し後の排出係数を利用して再計算
- バンキングされた超過削減量等の取扱い・・・バンキングされた超過削減量等の取扱いについても係数変更の影響を反映

### 【CO<sub>2</sub> 排出係数の見直し】

CO<sub>2</sub>排出係数：各計画期間開始前に最新のデータで設定(計画期間中は、固定)

(例) 電気の場合

第1計画期間の排出係数  
2005-2007年度の3カ年平均  
(電気：0.382 kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

第2計画期間の排出係数  
2011-2012年度の2カ年平均(2014年度に公表)  
(電気：2011年度実績(都内に供給されている電気)は0.460 kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

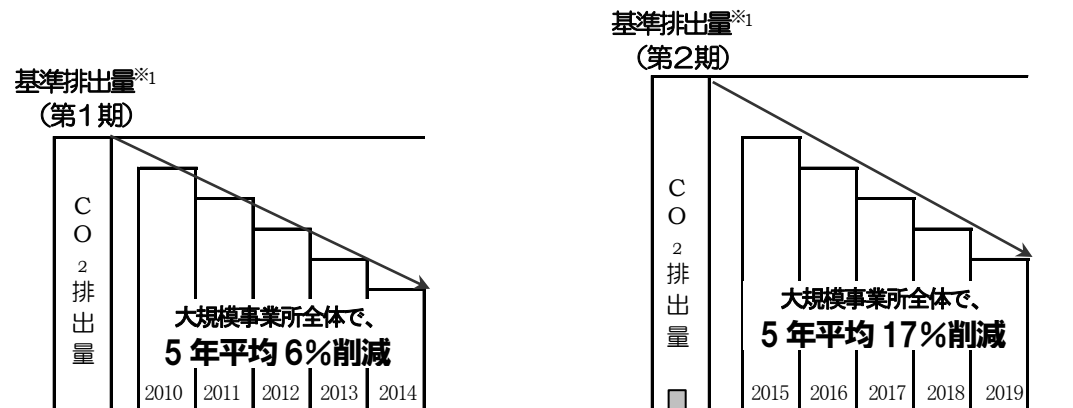
CO<sub>2</sub> 排出係数の変更に伴う

※2013年度に詳細検討、2014年度に再計算、2015年度から適用  
(基準排出量の再計算は、検証を要しない。)

### 【基準排出量の再計算】

第1計画期間(2010-2014)

第2計画期間(2015-2019)



※1：原則、2002-2007年度のうち連続する3カ年度平均値

第1期で決定した基準排出量を第2期の排出係数で再計算

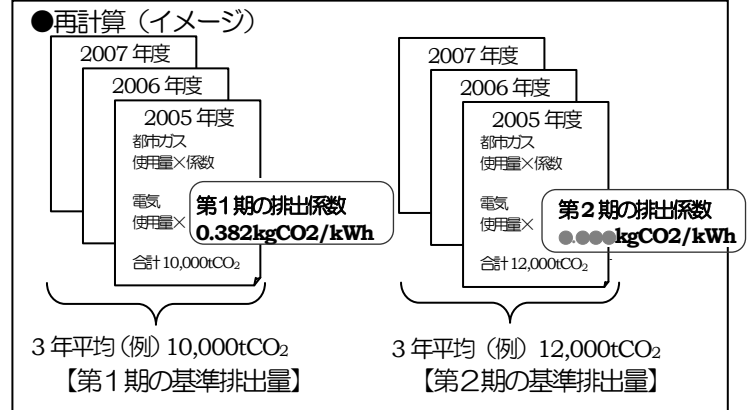
- ・エネルギー使用量：第1期と同じ(原則、2002-2007年度のうち連続する3カ年度平均値)
- ・CO<sub>2</sub>排出係数：第2期の排出係数(2014年度に公表)

年度排出量も  
第2期の排出係数で算定

### ■基準排出量の再計算の方法について

(1) 「過去の排出実績」で基準排出量を決定している場合

原則 第1期計画期間で決定した基準排出量を、第2計画期間の排出係数を用いて再計算



例外 「原則」の再計算で不利になる場合、当該事業所の2013年度の電気、熱及び燃料の使用比率に基づく倍率を乗じて計算できる。

(2) 「排出標準原単位」で基準排出量を決定している場合

原則 都が定める倍率を乗じて再計算

例外 「原則」の再計算で不利になる場合、当該事業所の2013年度の電気、熱及び燃料の使用比率に基づく倍率を乗じて計算できる。